

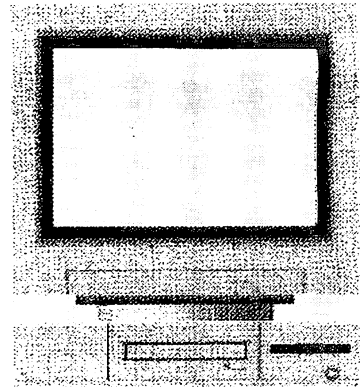
出会い ふれあい 助け合い

サロンのあべの

VOL.156

インターネット入門

— 出会いの扉を開こう! —



サロン・あべの5月の出会い

99年5月15日(土)、午後1時から、育徳コミュニケーションセンター2階研修室において、(サロン・あべの)5月の出会いを開催しました。

今回のテーマは、「インターネット入門」— 出会いの扉を開こう! — でした。パネラーは、HeartLandサポーターズの、西村裕介さんと中西久雄さんに、お願いしました。

インターネットとは

インターネットとは、世界中に網の目のように張り巡らされた通信回線と、コンピュータ端末を使って、情報を公開したり閲覧したりするシステムのことです。ウィンドウズ95の発売以来、急速に広がりました。

インターネットを使うことで、ホームページの閲覧(公開)や、

Eメールの発信・受信が可能になります。自宅や職場に居ながらにして、世界中の情報を入手したり、遠くの人と出会うきっかけを作るなど、なかなかの優れたものです。

Eメールは、電子メールとも言われます。手紙はもちろん、電話の代わりに使う人も増えています。相手の都合や距離を気にせずに、いつでも送ることができます、という利点があります。しかし、きちんと届いているのか。相手が本当に読んでくれているのかなど、不安な面もあります。

ホームページは、情報公開や交流を目的に開設されています。最近、雑誌や新聞の広告の端に、wwwなどで始まる、アルファベット(数字)の組み合わせが載っています。ホームページアドレスと言われるもので、これを入力することで、目的のホー

ホームページにアクセスすることができます。また、ホームページアドレスの検索をしてくれる業者もあります。企業からの広告収入で運営しているのが、基本的には無料です。しかし、ホームページの中には、閲覧が有料のものもあります。

準備するもの

インターネットを始めるには、パソコンやワープロなど、インターネットができる機能を持った機器が必要です。次に、電話回線。今使っている電話回線がそのまま使えます。そして、コンピュータネットワークとの接続を代行する業者（プロバイダー）を選んで、契約しなければなりません。

とりあえず、インターネットの入門を扱った雑誌を買ってください。1冊で十分です。そこから、パソコンやソフトウェア、

お知らせ

<サロン・あべの>7月の出会い

日時…7月17日(土)午後1時～4時

場所…育徳コミュニティセンター

[スロープ・車椅子トイレ有]

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

内容…「タイ人によるタイ料理教室」

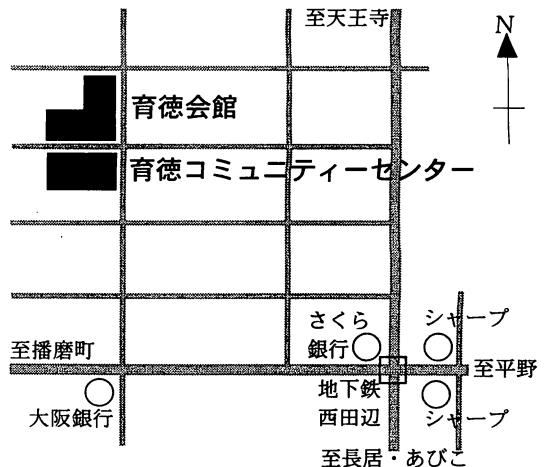
講師…加藤 ナムティップ 氏

(日本に暮らして10年のベテラン主婦)

会費…500円(試食費含む)

お申し込み・お問い合わせ先

TEL06-6691-1028(富田慶子)



ホームページの内容や、プロバイダーの選び方まで、あらゆる情報が得られるはずですよ。

身近にインターネットを始めている人がいれば、その人に聞きましょう。

インターネットを始めよう
インターネットも、所詮は人間が作ったものです。気軽に楽しみましょう。インターネット

によって、人と人とのコミュニケーションの輪が、飛躍的に広がるはずですよ。

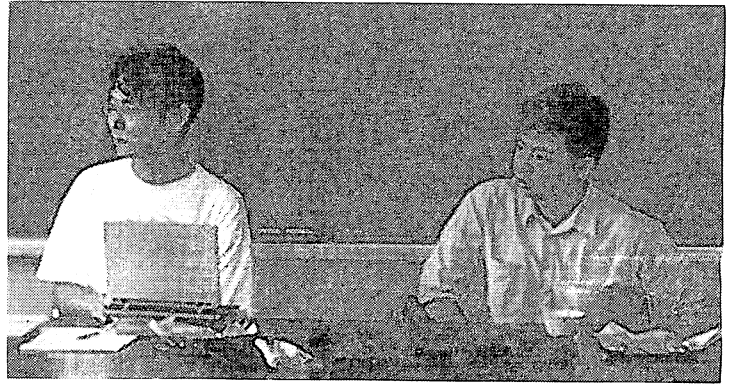
とは言っても、パソコンを買うとなると、そう安くはありません。アフターサービスなど、信頼できるお店を選ぶことです。

インターネットだけなら、そんなに高級な機種は必要ありません。買ったなら、すぐに使ってみることで。

やはり、既に始めている人に相談するのが一番良いでしょう。

HeartLand

HeartLandとは、大阪市職業リハビリテーションセンターが設置している、パソコン通信(会員制)のネットワークです。また、その運営や、パソコン講習・インターネット講習を支えているのが、Heart



tLandサポーターズのみならずです。障害者自身や、その介助をされている方なら、質問や相談も、受けていただけるそうです。

最後に

パソコンを買ったものの、なかなか使いこなせていない方。これから買って、インターネットを始めたい方。ぼちぼちですが、インターネットを始めている方。今回は参加者も、それぞれに違う段階でしたので、質問も様々でした。パソコンの機種

やソフトの違いによっても、その答えは変わります。今日1日の出会いで、すべてを理解することはできませんが、インター

ネットの楽しみや、雰囲気は伝わったと思います。

参加者29名。(上平幸雄)

おまけ

HeartLand事務局への連絡は、
Tel. 06-6704-7201
Fax. 06-6704-7274

Eメールアドレスを公開!!!
西村さん yue@pp.iij4u.or.jp
中西さん nakahis@kcn.ne.jp
上平 uehira@d1.dion.ne.jp



就職しました

以前サロン紙に書きましたが、私は、昨年四月から大阪障害者職業能力開発校に入校して、アパレル科で一年間、婦人服、子供服制作や、製図、アパレルC

ADなどを勉強してきました。その間(かん)自分のサイズでスカート、ブラウス、パンツから卒業作品のスーツまで、たくさん作品を作りました。自分自身、ここまで出来るなんて思ってもいなくて、驚きと

ともに自分にもやれば出来るんだなあと自信ができました。今年三月十九日技能照査も合格できて、無事修了することができました。

就職もやっと、泉北高島屋の事務に内定して四月十日から出

動しています。仕事の内容は、主にコンピューター入力です。最初はとまどったけれども、

学校で習ったパソコンと使い方が似ているのですぐに慣れ、この調子で頑張って自立したいと思えます。(堀田ゆかり)

ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、
生き生きした生活を送るために—

15

伊藤智佳子

の整理を試みたいが、まずは障害者プラン策定の背景と概要について触れることにする。

△障害者プランの策定の背景と概要の整理を『今』行う理由▽

障害者プランが策定されたのは、5年前の1995年である。今さら、どうして障害者プランの策定の背景と概要について整理する必要があるのかと疑問に感じる方もいると思う。『今』なぜ障害者プラン策定の背景と概要に触れておきたいと思ったかという点について、私なりに考えていることを記したいと思う。

障害者プランが策定された1995年直後には、多くの障害者福祉関係者がそれぞれの立場から障害者プランの評価点、問題点などを取り上げた。しかし、社会福祉基盤構造改革のもとに、ここ数年の、あまりにも早過ぎると思われる速度で改革されつつある社会福祉の流れの中で、障害者福祉関係者をも含む社会福祉関係者の目が介護保険に集中して向けられ、障害者プランそのものの存在が忘れ去られてしまっている

かのような感じがしているからである。2000年4月には介護保険が実施される。

介護保険実施後には、①これまで身体障害者福祉法によるサービスを受けていた人が65歳以上(特定疾病により障害をもった人たちは40歳以上)になると、今まで受けてきたサービスを受けることはできず、高齢者向けに準備されたサービスを受けざるを得ないことになる、②ケアマネージャーなど(ケアプランは利用者本人が作成することも可能であるが、本人が社会福祉制度にかなり精通していなければ難しいと思われる)が作成したケアプランに沿って、介護保険の枠内で組み合わせたサービスを受けなければならなくなる、つまり、ヘルパーだけを毎日利用したいと思っても、それができなくなるといったようなこと、などが想定される。それゆえ、現状では、障害者福祉関係者も介護保険制度下のサービスの質を高めることに集中することは理解できない。しかし、それと同様に、障害者プランについても考えていくことが必要となる。『今』を生きているからである。障害者プ

【わが国におけるピア・カウンセリングの現状から確認できたこと②

—障害者基本法、障害者基本計画、生活支援事業との関わりから②—

前号(VOL.155)では、障害者基本法の評価点を、主に障害者本計画策定と関わりのあると思われる点について整理した。今回からは、障害者基本計画、とくに、障害者プラン全体に関わる点、個々の施策に関わる点についての評価点、問題点など

ランの最終年度は3年後の2002年度である。多分、障害者福祉施策を考える上においては、若年から障害をもっている人たちが高齢者福祉の対象年齢になった時に困らないようにするという将来につながる視点と、今現在若年の障害者たちが「自立生活」を実現・継続することができるようにするという現在を見るという2つの視点が必要なのではないかと思われる。高齢者福祉の対象年齢未満の若年層の障害をもつ人たちへの援助策を考える上で評価点、問題点に触れ、それを通して、当事者性について考えてみたい。

△障害者プラン策定の背景▽

政府（国際障害者年推進本部）は、1982年3月「障害者対策に関する長期計画」を策定・公表した。さらに、1987年6月に「『障害者対策に関する長期計画』後期重点施策」を、「国連・障害者の10年」の最終年を迎えるにあたり1991年8月には「『障害者対策に関する長期計画』及びその後期重点施策の推進について」を決定した。

1993年3月に政府（障害者対策推進本部。1996年1月より障害者施策推進本部に改称）は、障害者施策の一層の充実を図るため、「障害者対策に関する新長期計画—全員参加の社会作りをめざして—」（1993年〜2002年度）を公表した。理念として「リハビリテーション」と「ノーマライゼーション」を掲げ、つぎの5つの基本的考え方に基つき、「施策の基本的方向と具体的方策を明らかに」した。

1. 障害者の主体性、自立性の確保、
2. 全ての人の参加による全ての人のための平等な社会づくり、
3. 障害の重度化・重複化及び障害者の高齢化への対応、
4. 施策の連携、
5. 「アジア太平洋障害者の10年」への対応である。

「障害者対策に関する新長期計画」は、障害者基本法の制定後、同法7条2の規定により国の障害者基本計画と見なされるようになった。しかし、具体的に施策を推進するために不可欠である優先順位、数値目

標などについてはまったく触れられておらず、どちらかという理念が先行した計画であった。

一方、高齢者の分野では、1989年に数値目標の入った「ゴールドプラン」が策定された。1994年末にはその見直しが行われ「新ゴールドプラン」となった。また、児童の分野では1994年に「エンゼルプラン」が策定された。このような状況の中にあって、「障害者施策に関する新長期計画」の見直しが課題となってきた。そうした状況の中で策定されたのが「障害者プラン」である。



★ 時をわける

腕時計の電池が切れてしまった。近くの店に行けば「時計を買い換えたほうがお得ですよ」と言われた。以前にも同じことを聞かされた。どうやら、私がついているような腕時計は安物で、電池代と値段が変わらないらしい。

そこで、ガラスのケースに入った時計をながめながら、新しい時計を選ぶことにした。いままでずっと数字だけのデジタル時計を使っていたので、こんどは針のついたものがほしいと思った。そして、そばの店員がたぶんあきらめるほど、時計を比べて考えていた。

すると、文字盤に書かれた数字のデザインを見ているうちに、ふと、時計にはなぜ十二までの数字しかないのだろうと思った。十二という数字は便利だ。二でも三でも四でも割れる。六という大きな数字でも割れる。つまりなんでも分けるのに便利な数字なのだろう。これが十なら、二と五にしかわけ

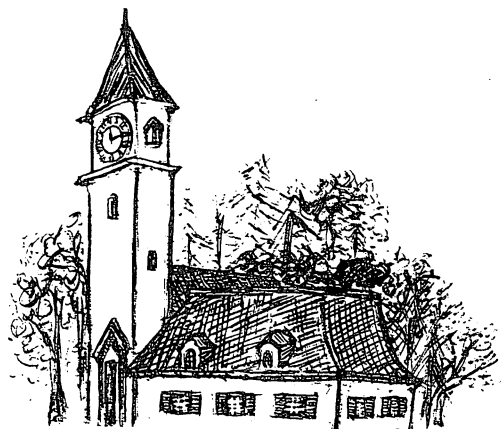
られない。

時間も分も秒も、すべて時計の文字盤で計ることができ。つまり十二で割れる。二人で、三人で、六人で分かち合える時間がそこにある。

そういえば月だって十二ある。一年は二にも三にも分けられる。年については、西洋にはないが、東アジアには十二支という数え方がある。

分けるという点から、時計の文字盤を改めて見れば、丸い文字盤はまるでパイのようだ。あたかも二つ、三つに分かちあわれるのを待つかのように文字が並んでいる。

時間は分かち合うものなのかもしれない。時間を取ったとか、取られたとかいうが、もともと時間は取り合ったり奪い合ったりするものではなく、公平に分かち合うものかもしれないのだ。それに、ぐるぐると周り続ける時計の針は、時間には果てしがないことを



示しているが、同時に、文字盤というきわめて限られた小さな場所だけで周ること、時間は私たちの手のひらに乗るほどの小さな限りあるものであることを教えてくれる。

そこまで考えて、ふと、数字だけのデジタル時計をみれば、私はあの数字を見て、時間の足し算と引き算しかしてこなかったことに気づいた。あの人

に二十分とられた、この人には三十分あげた。そんなことを考えて時を過ぎさせていた。

結局、私を買ったのは、やっぱり三千円もしない安い時計だった。しかし、今度は文字盤と針で時を示してくれる。明日からは、誰かと時を分かち合いながら生きていこうと心に決めたのだ。

(知)

感謝

カンパ、お茶菓子、バザー用品、冊子等の寄贈、またサロングッズのお買上げありがとうございました

網屋康子、有野千代乃、稲垣恵雄、植松菊雄、上野谷加代子、大岩和呂男、大西暉子、岡 賀寿子、岡本徳俊、佐伯幸子、定兼万代子、生野智子、関本邦雄、竹村定子、中村宣子、長谷川 浩、東谷和代、宝示愛子、村松育子、三木法子、森 芳江、山口豊子、吉原和朗、その他の方々、

六月に思う

六月といえば梅雨が連想され、メランコリーなイメージしか浮かんでこない。しかし六月ともなれば山脈(やまなみ)や木々の葉はすっかり緑翠に覆われ、風物はすべて夏の姿に変わっている。この月はいたい花の少ない時季であるが、それでも大振りの紫陽花や藤の花などが我々の目を大いに楽しませてくれる。そしてまた山野や池のほとりには白、浅黄、絞、赤紫色の花菖蒲が咲いているのをよく見かける。

花菖蒲は ハナショブ 杜若やアヤメとよく似ている。私は未だにその區別がつかないので、時々本棚から植物図鑑を出して調べて見るのだが、ますます分からなくなってしまうのである。

晴れのち晴れ

⑨

稲垣 恵雄

ことがあった。友人と初めて市内の居酒屋へ飲みに行った。その女将は時節にすごく敏感な人で、季節が変わるたびに店の暖簾を取り替えるそう。その時はちょうど梅雨の最中だったので、目にも鮮やかな花菖蒲の暖簾が架かっていた。私は時たまその暖簾を見ながら飲んでみると、なんだか心がうきうきして酒の味が一層旨かったことが今でも忘れることができない。

でもそれから一度もその店に入ったことがない。自分でもどうしてか分からない。

ところで六月は一年の折り返し点である。それで半年間の反省と残りの半年間のプランを立てる月だと言われている。私もこの原稿を書きながら半年間をふり返り、元日に立てた目標、抱負をもう一度練り直したいと思っている。

植物あれこれ

第五回

山口康二郎

園芸療法(3)

— 儲かることは良いことだ —

佐賀医科大学助教妙木浩之氏が「心理

経済学のすすめ」という本を出され注目されています。前著「父親崩壊」では画期的な現象は経済的である」とする心理経済学を唱えられた続編ともいえるものです。この発想は著書が臨床場面で出合うクライエント(来談者)の治療体験から、心を病んでいる人と会っているとお金を稼ぐという単純なことがいかに重要であるか気づかれ特に青年期で社会人になっていない時期に神経症になった人が、その後仕事につけるかどうかはその人の予後に大きな影響があるということからです。「心の教育」が叫ばれています。社会経済状況に私たちの心がどのように影響を受け、どのように関与していくのかを見つめる分析が不可欠で

心の経済学が今日ほど求められている時代はないと強く主張されています。

突然、書評のようなことを書き並べまし



たが、実は私は常々「園芸療法にも経済的状況をつくることでより一層効果がある」と去る一月の大会でも発表したばかりなの

で大いに気をよくしているところ。先に園芸療法とは土をいじり種子を播き、花や実を楽しむことで心を癒すことであると述べましたが、そこに経済的要素が加わることで、励みや生き甲斐が一層増すと考えていたからです。むずかしいことではありません。「自分たちのつくった花や野菜が売れてボーナスが増える」ということを実際に体験することで作業意欲は高まり、ひいては金銭感覚が身につくと思っただけです。

授産施設での作業中に私は意識的にお金の話をメンバーとします。

「この苗は良いので高く売れるよ。何んぼで売れると思う？」に「高いんやったら千円かな、五千円で売れるかな」と途方もない値段がついたりします。「ほんならあんた買うか」といわれ「五千円やったら二本買うたら僕の月給なくなるわ。やっぱり五千円は高すぎるで」「そんなら何ぼやったら売れるやろ」侃々諤々。

次の作業日花屋さんで同じ花の値段を見てきた人が「あそこでは三百円やったで」と報告があり、「これで三百円儲けや」の

声上がる。「ちょっと待って、三百円全部儲けになるか」とちよっかい出すと皆げんな顔をする。「鉢代は何ぼかかっところ？」「土も買うたで」などを話しているとKさん「金儲けて大変やなあ。がんばって良いもんつくらなあかんで」

昨年のバザーで成功したメンバーは今年近隣の施設から五十個のハンギングの注文と寄せ植えの注文があり大張り切りです。「山口さん、今年も儲けまひよな」長老格のFさんに今日も励まされながら私自身も癒されている園芸療法です。

好評のエッセイ!

岡知史著

- 知らされない愛について
- ほんの少しの神に近い部分

◎ どちらも・700円
〒106-6691・1028 富田まで

まきみみずきん

花の命は・・・

春にY氏より三色すみれの鉢植えをいただきました。透明感のあるブルー系の小花をたくさん着けており、葉の力強さと共に花の凛とした雰囲気をもかもしだしていました。庭の植木台に置いて、忘れな草の花と一緒に毎日楽しみに眺めていました。ところがところがです。わが家の庭にはのら猫が何匹かやって来るのですが、その猫が鉢の中で昼寝をするのです。今までは草花の鉢ではなかったので大したことはなかったのですが、三色すみれの柔らかい葉の上で眠られたらたまりません。花も葉もだらりと垂れ下がり、再起不能かと思われる状態になりました

た。蕾もたくさん残っているのにかわいそうにと鉢の上に針金を渡して回復を願いました。三日程で元氣を取り戻し、しっかりと花を咲かせてくれました。その後猫は針金を押し倒したりはずしたりして、花のクツションを楽しんでいるようでしたが、花はその度に元氣に立ち上がり、生命力の旺盛さを見せてくれました。一ヶ月も経つと忘れな草の方には小さな種子が付きました。しかし、この三色すみれは少ないながらも花を咲かせ続けています。この苗は種子を付けない一代限りのものだそうなんです。だから、踏まれてもつぶされても命あるかぎり頑張っているのかも知れない……。たくましいは花の命です。
(け)

美智子のこんな話

岸田美智子

生活実態、考慮が必要

「障害者が介護保険の対象になるとどうなるのか」

「いま受けている福祉サービスが低下するのでは」

など気になることの多い介護保険についての私の意見などが朝日新聞に掲載されました。

(略)

障害者が親元や施設を頼らず、自立生活

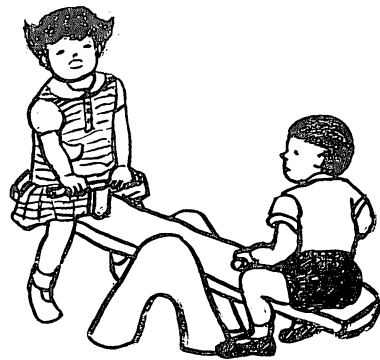
を望むときの相談に乗っている岸田美智子さん(44)は「新たな保険料、利用料の負担やサービスの不足は、地域で暮らし始めた障害者を自宅や施設に戻すことになり兼ねない」と心配する。

脳性まひが原因で手足が不自由になった岸田さんは、両親が高齢になり「自立」を目指して四年前より市のホームヘルパーや「ライフ・ネットワーク」に登録の介護者に、二四時間介護を受けている。

介護者には交通費と時給(二百円〜五百円)を払っている。財源は市の全身性障害者介護人派遣制度(市が重度身体障害者の介護人を派遣し、月に百五十三時間を上限に時給千四百円を支払う)で支給される月額二十一万円。これで足りないときは別程度の補助費で補てんしている。

岸田さんの収入は障害基礎年金の月約八万円。介護保険制度が始まると、六十五歳まではサービス対象にならないが、保険料は払わなければならない。

六十五歳以上の障害者はもっと深刻だ。介護保険でサービスを受けると、これまで



受けていたサービスが受けられなくなる可能性があるからだ。そうになると、要介護度が「最重度」に認定されても、一日中、ホームヘルパーを利用できるメニューは用意されていない。別の制度を併用できない限り、「一人暮らし」は不可能だ。

多くの障害者は長い間、自宅や施設から出にくい環境にあった。一九七〇年代から、社会支援サービスを受けて地域に出ていくようになるにつつある。介護保険制度はそ

の流れを加速できるのか。

介護保険法の条文には、「介護が必要となった人が自立生活でできるようサービスする」ことが制度の目的とある。だが、実際のサービス内容は、食事や入浴の世話に重点が置かれ、外出の介助は考えておらず、要介護認定は、身体機能が問われるだけで、本人がどんな生活をしたいかは考慮されない。

「自立生活センター・ナビ」（東住吉区）尾上浩二代表は指摘する。

「介護保険制度は大きく見直されなければならぬ。当事者である高齢者や障害者もサービスやシステムの見直しに声をあげ、自分たちの意思を主張していくことが必要だ」

「朝日新聞99年5月25日「わたしのまち」では：△▽「介護保険にむけて」より」
この記事についてのご意見、ご感想をお聞かせください。お待ちしております。

○連絡先：ライフ・ネットワーク（岸田）
（火・土・日・祝日以外11時～18時）

住所 大阪市住吉区大領5-10-16

電話 06-6660718260

<さろん亭>からのお願い！

恒例の<さろん亭>の開店が近づいてきました。タオル1本、石鹸1個でもかまいません、品物の提供をお願いします。

✓ <さろん亭>はチャリティーです・・・

<さろん亭>の売り上げはサロン・あべのの活動資金になります。どうか、売り上げにご協力ください。

✓ せっかくですが・・・

お使いになった食器類
賞味期限の切れた缶詰・瓶詰
衣料品 書籍・雑誌などは
<さろん亭>では売れませんので、
お断りいたします

連絡先：富田慶子 ☎545-0021 阿倍野区阪南町6-3-26 TELFAX 06-6691-1028

品物をご連絡くだされば取りにうかがいます。またこわれるものでなければ送料着払いでお送りくださっても結構です。

トインからのお便り

St. Andreasberg, 20th May 1999

Dear Keiko,

thank you very much for your last letter. I enjoy it very much and want to answer to you as soon as possible.

At the moment in our clinic for rehabilitation we have much to work. In the last months there are so many patients that we have to enlarge our buildings and to increase the number of our employees. This is a new trend. In 1997 and 1998 we must reduce our staff and the other persons can't work the whole week.

But the good development in our clinic isn't typical for the whole economy in Germany. Our unemployment rate is nearly 10% since many years and you can't find any trend of falling down in the next future. This is one of the greatest problems in the German society and a danger for our social system.

My boyfriend also had problems in his company, because his company was sold to a great concern and his working place could not be saved. Fortunately he has found a new job since March 99.

This year my boyfriend and I will drive to Italy to a great sea called „Garda-Sea“ in August. It isn't my preferred time to make a journey in the summer months, but my friend doesn't get another free time in this year. I hope it isn't too hot at „Garda-Sea“.

I am sorry, but I don't know Baden-Baden with the hot springs. In Germany Baden-Baden is a very noble health-resort for the very rich people. But you can find many other watering-places with hot springs in Germany, especially with hot salted water, which should be very good for rheumatic diseases for instance. I myself can't use the hot springs because of my high blood pressure.

Now I will close my letter. I hope you and your group have a nice time til I will hear next time of you.

With best wishes

1999年5月20日

セント アンドレアスバークにて

親愛なる慶子様

お手紙ありがとうございました。楽しく読ませていただきました。そして、すぐにお返事を書きたくなりました。

私たちのリハビリクリニックでは、昨年、一昨年は、人員削減、時間短縮を余儀なくされたものです。でも、この数カ月というもの、患者が多く、仕事も忙しいので施設を拡張し、人員を増やさなくてはならない状況になっています。

でも、私たちのクリニックでのこうした好ましい傾向も、ドイツ全体の経済にはあてはまらないようです。ここ数年の失業

率は10%近くに達していて、近い将来、改善の見込みはありません。これは、わが国のかかえる大問題のひとつであり、社会システムの崩壊を招きかねません。

私のボーイフレンドも、勤めていた会社が大財閥に買収され、仕事を失いました。でも、幸いなことに、今年の3月に新しい仕事が見つかりました。

彼と私は、今年の8月にイタリアのガルダ湖というところに車で旅行する予定です。夏の旅行はあまり好きではないのですが、彼の休みが取れないので、仕方ありません。あまり暑くならないようにと願っています。

バーデン バーデンの温泉というお話でしたが、私は、残念ながら、聞いたことがありません。ドイツでバーデン バーデンと言えば、高級なヘルスリゾートと言う印象です。でも、ドイツには、他にも温泉の出るところはたくさんあって、リウマチなんかによく効くという、塩水の温泉というものもあるんですよ。私は、血圧が高いので、温泉には入れませんが。

では、この辺で筆を置きます。

あなたと、仲間の皆様が、元気に過ごされますように、

ブリギッテより
(訳=林 正弘)



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」7月の出会い

日時 ; 平成11年7月18日 (日)

午後1時30分~午後4時

場所 ; 「やすらぎ」

[大阪市淀川区三国本町2-14-3]

内容 ; 「昔の話・今の話」

昔話を聴きましょう。語りましょう。

パネラー : 鏑^{かざり} 恵美子氏

会費 ; なし

問い合わせ先 ; 淀川区社協 ボランティア・ビューロー

TEL 06-6394-2900

日時 ; 平成11年7月11日 (日)

午後1時30分~4時

場所 ; 東淀川区民会館4階会議室

[大阪市東淀川区東淡路1-4-53]

内容 ; 「コリアボランティアを通して

知る本当の人間関係」

— ボランティア活動の現状とこれから—

パネラー ; 山田 裕子氏

コリアボランティア協会 代表理事

特定非営利活動法人・大阪エヌ

・ピー・オー・センター 理事


会費 ; 無料

問い合わせ先 ; 鈴木 昭二

TEL・FAX 06-6340-3082

■「ウイズ東淀川」7月の出会い

■「サロンいたみ」7月はお休みです。



絵はがき
1セット5枚組 180円

朗読グループ「ぼけっと」のご案内
朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、
Aサロン・あべのV紙一五五号の録音テープ(六〇分)が出来ました。

朗読テープ文庫

1. Aサロン・あべのV紙は、第一号より一五五号までそろっています。(五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本)

2. Aサロン・あべのV十周年記念誌「はあとが、はろー!」(九〇分テープ二本+一二〇分テープに収録)

3. 絵本「未知の記憶」(作:絵川中川勝彦)

4. 「ラジオたんぱ」放送「Aサロン・あべのV平成七年五月の出会い」放送分(三〇分)

5. エッセー集「逃げたクヨナク」ボランティア活動の周辺(岡本栄一著・糸でんわ音訳)

6. 「キミたちだけじゃ困るんだ」身障者だけで旅した十余年(山田誠1995)

7. 「金子みすゞへの旅」(島田陽子著九〇分テープ二本・糸でんわ音訳)

8. 「タヤけ空のオニヤンマ」(牧口一二著・九〇分テープ四本糸でんわ音訳)

9. 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本音訳糸でんわ)

いずれもご希望の方には、タビング、または貸出しをしますので、富田までお申し出ください。(06-66691-1021)

「いあいさつ」

今年度から「サロン・あべの」の代表になりました山村貴司です。

「サロン・あべの」の例会に参加したきっかけは、働きだして間もない頃、上平さんに誘われたことからでした。

その後、例会に行ったり行かなかったりしていましたが、富田さんからよく誘いの手紙をいただき、その情熱についに足を運んでいました。

「サロン・あべの」の良いところは、毎月違ったテーマで講師の先生のお話や参加者同士の意見交換など、とにかく会員制で

はなく、いつでも、だれでも、参加できることです。そして、その場所にたまたま体の不自由な人がいて、自然な関わりができるところではないかと思っています。

これまでは運営委員として会計をやってきました。自分人前に出て喋ることなど苦手なので、このたび代表としてとても重責を感じます。とにかく皆さんの理解と協力で支えられながら、障害者と健常者が自然にながりができるようにやっていきたいと思っています。

これからも「サロン・あべの」をよろしく願います。

「サロン・あべの」

代表 山村貴司

FROM EDITOR

編集後記

お気づきかと思いますが、前号と今号の出会いの写真はデジカメで撮ったのを、パソコンでプリントアウトしたものの。時流に乗ってなんとおしゃれな、とは表向き。舞台裏を明せば、経費節約から思いついてのこと。カメラは歴とした借物。フロッピーに移し、プリントするまでの作業はベテランY嬢のワザ。で、編集子はただ切って貼っただけ。(石)

編集人：サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.156 ['99.6.19.発行] 定価¥1000.

代表：山村貴司 〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 電話06-6691-9071

連絡先：富田慶子 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話・FAX06-6691-1028

表題：井上憲一・筆 文中イラスト：石田美禰子

郵便振替口：サロン・あべの 00950-9-26941

印刷：セルフ社 〒546-0044 大阪市東住吉区田辺町4-23-2ミスターDビル2F ☎06-6719-8212 ☎06-6791-8213